

校訓
自主 自立 協力
友愛 健康

令和8年度学校教育計画

呉市立吉浦中学校長 白井 良枝

継続

【吉浦中学校区の教育目標（小中一貫教育）】

「かしこく やさしく たくましく」（自利・利他・貢献）

継続

経営理念

ミッション（学校の使命）：夢の実現に向けた志を抱き、自己を成長させていくとともに、自分を大切にし、他者を、家族を、地域を大切にし、社会に貢献できる生徒の育成
ビジョン（将来の学校像）：伝統を継承し、人々とふれあう中で、地域と一体感をもち、郷土愛を育むことができる学校

継続

目指す学校像

- ・生徒、保護者、教職員が誇りに思い、地域から愛される学校
- ・潤いと活気に満ちた学校

目指す生徒像

- ・自分を大切にする生徒
- ・他を大切にする生徒
- ・地域・社会に貢献できる生徒

目指す教職員像

- ・常に学び続ける姿勢をもつ教職員
- ・組織の一員として責任と自覚を持ち協働できる教職員
- ・誰からも信頼される教職員

吉浦中学校に（を）
・通って良かったと思う生徒
・誇りに思う地域住民
・通わせて良かったと思う保護者
・勤務して良かったと思える教職員

学校経営目標 言葉を育て 心を育て 人を育てる

《学ぶ意欲と学力の向上》

①授業改善の推進

- 教科等の本質に迫る「考える授業づくり」：発問の工夫、めあてと振り返り
- 個別最適な学びに向けた授業の充実と深化：チャレンジの充実
- 語彙力の向上と思考・表現の充実：読む・書く・話す・伝える・聞く・交流する

②個別の指導や支援の工夫

- ICT、AIドリルの効果的活用
- 特別支援教育の推進
- OSSRと生徒支援の工夫

③授業規律と教室の環境整備

- 授業準備 ○「返事の指導」「聴く姿勢の指導」
- 整理・整頓・清掃
- 「整然とした掲示物」等

《道徳教育の充実と

防災教育の深化》

①道徳的実践力と自己肯定感の向上

- 生徒の自己存在感を高める：生徒会・学級活動の充実
- 貢献の機会と場づくり
- 生活に活かす道徳の実践

②基本的な生活習慣と社会性の育成

- 時間の三点固定
- 法・ルールへの遵守と規範意識の醸成
- エチケット・マナーの指導

③郷土愛・防災教育の深化

- ～地域を知り、地域と関わり、命を守る～
- 総合的な学習の充実（地域と協働し、地域を知り、未来を考える）
- 防災学習を通して自分の命を守り、地域貢献を考える。

《安全・安心な教育環境と

積極的生徒指導の推進》

①多面的生徒理解と組織的支援

- 個の特性・状況に応じた居場所づくり
- OSC、SSW・関係機関との連携・相談
- いじめ防止等に係る取組の徹底

②働き方改革と職場環境の充実

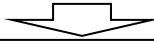
- 生徒と向き合い、共に活動する支援
- 声を掛け合い、相談できる風通しの良い職場づくり
- 情報の共有と協働（組織的対応）
- 時間外勤務の縮減
- 職場の環境整備

③危機管理意識の醸成・不祥事根絶

- 不祥事防止研修の充実（我がこととして捉える意識づくり）
- 環境整備と未然防止対策の実施

地域とともにある信頼される学校づくり（コミュニティ・スクール）

小中一貫教育



継続（一部新規）

三つの重点施策

①「知」 授業改善の推進…「優れた授業は最大の生徒指導である。」

学びの変革の更なる推進	○教科等の本質に迫る「考える授業づくり」の実践：考えさせる発問の工夫 ○個別最適な学びに向けた授業の充実：チャレンジ（選択肢と自己決定）の充実 ○語彙力の向上と思考・表現の充実：表現：読む・書く・話す・伝える・聞く・交流する
個別の指導や支援の工夫	○ICTの効果的活用・AIドリルの効果的活用 ○特別支援教育の推進（個の特性に応じた指導・支援の工夫） ○SSRと生徒支援の工夫
授業規律の徹底 教室環境の整備	「2分前着席」「4秒礼」、明確な『返事の「はいっ」を言わせる指導』『聴く姿勢の指導』、「整然とした机・椅子の位置」「ロッカーの整理・整頓」「掃除の徹底」「整然とした掲示物」

カリキュラム・マップに基づき、つながりを重視した教育活動の実践（知・徳・体の一体的充実）

とともに、自己存在感を高める。

道徳的実践力と自己肯定感の向上	○生徒会・学級活動の充実：活動を通して生徒の自己存在感を高める。 ○貢献の機会と場づくり：貢献に「感謝」を伝え、小さな「感謝」を積み重ねる。 ○生活に活かす道徳：生徒の姿を観ることで生活実態に応じて学びを生かす。
基本的な生活習慣と社会性の育成	時間の三点固定（「起床時間」「就寝時間」「家庭学習を始める時間」を固定させ、朝食をとるなどの規則正しい生活を送るように指導する） 法やルールへの遵守と規範意識の醸成（機会を逃さず、時宜を得た指導） 社会における「エチケット・マナー」の指導：挨拶の仕方等 率先垂範
郷土愛・防災教育の深化	総合的な学習の時間の充実：地域と協働し、地域を知り、未来を考える。 防災学習を通して自分の命を守り、 <u>地域貢献を考えさせる。</u>

③「心・体」 安心・安全な教育環境と積極的生徒指導の推進…「学校は学習共同体であり、生活共同体である」→仲間として「心の健康・体の健康」を保つ。

多面的な生徒理解と組織的支援	○個別の特性・状況に応じた居場所づくり（生徒支援会議とSSRの充実） ○SC、SSW・関係機関との連携・相談（QUの実施と面談等） ○いじめ防止等に係る取組の徹底（職員研修の充実と防止対策の徹底）
働き方改革と職場環境の充実	○生徒と向き合い、生徒と共に活動する支援 ○声を掛け合い、相談できる風通しの良い職場づくり ○情報の共有と協働（組織的対応） ○職場の環境整備 ○時間外勤務の縮減（年間360時間未満）
危機管理意識の醸成・不祥事根絶	○不祥事防止に向けた研修の実施：我がこととして捉える意識づくり ○教室の環境整備と未然防止対策の実施

継続

基礎に据えたいものは『生徒指導の四つの視点』と『率先垂範』と「報・連・相・(確)」

自己存在感の感受	大切にされ、価値のある存在ということを実感させましょう。
共感的な人間関係の育成	相互に尊重し合い、理解しあい、自分を語れるようにしましょう。
自己決定の場の提供	自分で考え、選択し、決めて実行する場を設定しましょう。
安全・安心な風土の醸成	個性や多様性を認め合い、安心できる授業や学校生活をつくりましょう。
率先垂範	一人の大人として、生徒に背中を見せましょう（お手本になりましょう）。
報・連・相・(確)	組織を機能させるには「報告・連絡・相談・(確認)」が欠かせません。

学力調査への対応…「結果を残し、教師も生徒も自信を持つ。」

基本的学力への対応	朝読書・特設放課後学習・Qubenaの積極活用に取り組みましょう。 短答式・記述式を含め、読み・書き・表現（伝える）の基本を指導しましょう。 生徒の誤り（ミス）を分析して、対策を練りましょう。
30%未満生徒への対応	特設放課後学習や隙間の時間を利用して基本的な問題をやらせましょう。 日々の教育相談を通して課題を明確にし、短期目標を設定しましょう。
活用問題への対応	定期試験では、学力調査や入試問題を参考にし、図表の活用、資料の比較や複合問題等の思考を深める問題・活用問題を出題しましょう。（要 起案）

より信頼される学校…不祥事は絶対に起こさない！→生起すると正常な教育活動ができない！

職員一体化した取組	実態に応じ、職員が一体となって生徒に寄り添う指導をしていきましょう。
定期的な研修	現状把握から、当たり前のことを再確認していく場を設けましょう。
情報発信	学校の様子を各通信やホームページで発信しましょう。 ※著作権・個人情報の管理を徹底しましょう。

生徒へ指導し続けてほしいこと（われわれも意識し続けましょう！）

一生懸命	努力は必ず報われるわけではないけれど、“一生懸命”であれば、必ず成長できる。“一生懸命”取り組んだ者でないと味わえないことがある。中学校3年間を充実させる。
感謝	自分を認め、他に感謝し、貢献することで、さらに成長できる。
健康	活動するための土台。栄養・睡眠・適度な運動・規則正しい生活（時間の三点固定）。悩みを一人で抱え込まず誰かに相談しましょう。

継続

教職員の皆様へ…健康に留意し、明るく、働きやすい職場にする

働き方改革	時間外勤務の上限は年 360 時間です。（月平均 30 時間を超えないように、勤務時間を意識し、ゴール・期限を決め、効率化を図ってワークライフバランスを保ちましょう。 生徒指導の未然防止が、最大の業務改善。働きやすい職場を目指しましょう。
-------	--